



社協のマーク
「社」を圖案化

社協 みさき

2023.7 第142号

発行所：社会福祉法人 岬町社会福祉協議会
岬町社協地域包括支援センター

TEL：072-492-0633・5700 〒599-0303 大阪府泉南郡岬町深日 3238 の24
FAX：072-492-5701 ホームページ <http://www.misakisyakyo.jp/>
TEL：072-425-9058 FAX：072-425-9059



災害ボランティアセンターテント等設営訓練



深日地区 ふれあい喫茶

平時の“つながり”が 防災・減災の“架け橋”に!



孝子地区 喫茶たちばな



淡輪地区 防災研修会

(この広報紙の作成には共同募金配分金を活用させていただいています)

岬町 社会福祉 協議会

社会福祉協議会（社協）とは？

社会福祉協議会は、通称「**社協**」と呼ばれ、地域すべてのみなさんが、明るく健やかな生活を送れるように、地域の団体・機関・施設などが話し合い、協力しあって総合的な福祉の推進を図るために設置された**民間の団体**です。

平成12年に施行された社会福祉法においては、「**地域福祉の推進を図ることを目的とする団体**」として明確にされています。

社協の歩み

戦後間もない昭和26年に、戦後の「社会救済」のため、公では担えない福祉を行う目的で、全国に中央社会福祉協議会としてはじまり、その後都道府県で設立され、そして市町村へと設置が進められました。

岬町では、昭和37年4月に岬町社会福祉協議会が創設され、低所得者や障がい者などの方々への生活福祉資金の貸付事業や住民の皆さんの困りごと、心配ごとの相談所の運営、ボランティア活動の前身となる善意銀行の奉仕活動、共同募金・歳末たすけあい運動を展開しました。

昭和53年、福祉委員会を各地区に組織、平成6年には岬町ボランティアセンターを開設し平成31年には岬町ボランティア住民活動支援センターへ生まれ変わり、福祉活動を推進しています。

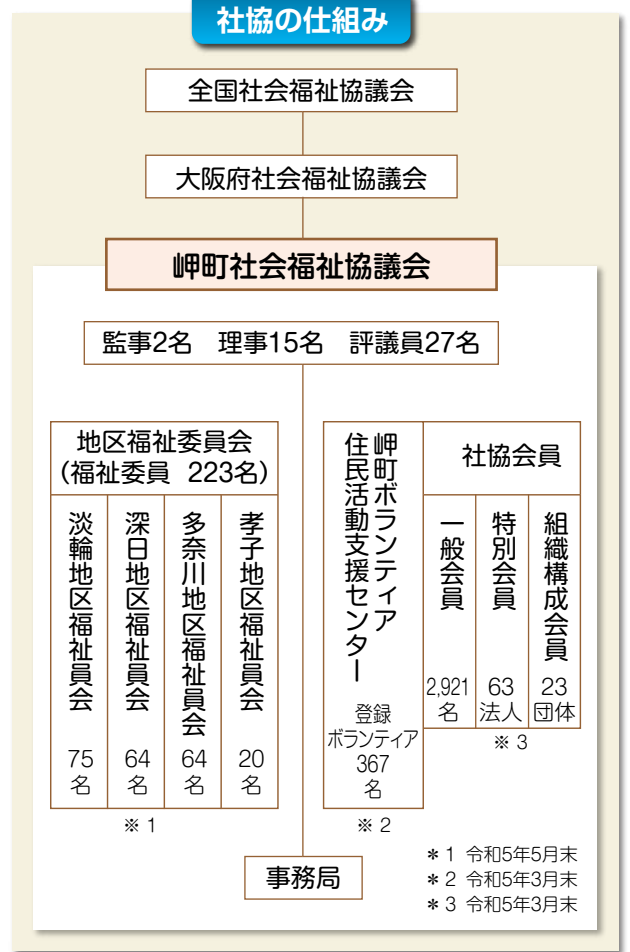
社協会員とは？

社協の趣旨・目的・事業にご賛同いただき、財政支援という形で地域福祉活動に協力、参加していただく制度です。会員であるということは、地域の一員として社協が行っている活動（4～7ページ参照）を支えていただくとともに、社協活動を知っていただくことで「わたしたちの地域」の問題を共に考えていただける機会となっています。

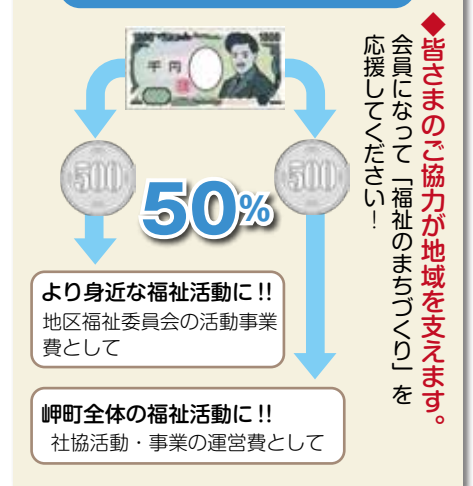
名称	一般会員	特別会員	組織構成会員 ※4
種別	個人	法人・事業所等	社会福祉活動を行う団体・機関・事業者
会費額	1口 1,000円	1口 10,000円	1口 5,000円

※4 社協の事業を決定する理事会、その議決機関である評議員会の選出母体となる。

社協の仕組み



一般会員会費のつかいみち



本年度も、社協の趣旨にご理解、ご賛同をいただき会員加入を賜り厚くお礼申し上げます。

皆さま方からご協力いただきました会員会費は、岬町の地域福祉活動（4～7ページ参照）の推進に活用してまいりますので、今後とも社協並びに地区福祉委員会に対しましてご理解、ご協力をお願い申し上げます。なお、本年も会員募集にご尽力いただきました自治区長（自治区）、民生委員・児童委員、福祉委員、ボランティアの皆さま方には、心よりお礼申し上げます。

今後とも、可能な範囲でご支援・ご協力頂ければ幸いです。

※会員募集の詳細につきましては、次号（社協みさき第143号・10月1日）にてご報告いたします。

令和4年度 決算報告(法人全体)

○資金収支計算書 (自)令和4年4月1日 (至)令和5年3月31日

収 入	金額 (円)	支 出	金額 (円)
会費収入	3,963,000	人件費支出	59,357,624
寄附金収入	157,500	事業費支出	21,061,306
経常経費補助金収入	27,523,997	事務費支出	2,079,903
受託金収入	46,727,014	分担金支出	77,000
事業収入	750,508	助成金支出	5,495,500
負担金収入	749,511	固定資産取得支出	324,940
介護保険事業収入	20,588,738	ファイナンス・リース債務の返済支出	1,911,360
受取利息配当金収入	408	積立資産支出	3,747,500
その他の収入	88,500	その他の活動による支出	2,877,608
		支出合計②	96,932,741
		収支差額 (①-②)	3,616,435
		前年度繰越金	16,060,645
収入合計①	100,549,176	当年度繰越金	19,677,080

○貸借対照表 (令和5年3月31日現在)

資産の部 (円)		負債の部 (円)	
流動資産	23,901,297	流動負債	9,498,575
		固定負債	32,226,810
固定資産	129,289,219	負債の部合計	41,725,385
		純資産の部 (円)	
基本財産	47,806,725	基本金	1,000,000
		国庫補助金等特別積立金	22,406,652
その他の固定資産	81,482,494	その他の積立金	44,648,821
		次期繰越活動増減差額	43,409,658
		(うち当期活動増減差額)	5,344,525
		純資産の部合計	111,465,131
資産の部合計	153,190,516	負債及び純資産の部合計	153,190,516

ありがとう！アルミ缶ボランティア活動！

令和4年度アルミ缶収益金として174,540円集まりました。
集まった収益金は、岬町のボランティア活動の推進のために、活用させて頂きました。
アルミ缶ボランティア活動にご協力頂きました皆様には、厚くお礼申し上げます。
今後ともよろしくお願い申し上げます。



「災害時におけるボランティア活動支援に関する協定」を締結しました。

令和5年3月7日、大阪いずみ市民生活協同組合と泉州ブロック（8市4町）の社会福祉協議会との間で「災害時におけるボランティア活動支援に関する協定」を締結しました。

これにより、岬町で大規模災害が発生した際、大阪いずみ市民生活協同組合から災害ボランティア活動に支援をいただけることになり、災害ボランティアセンターの充実、強化が図られます。

災害時、少しでも多くの被災された人たちへ寄り添い、被災地・被災者主体で支援活動が行えるよう、今後より一層、他団体等との連携を深めるとともに、平時からのつながりづくりをベースに、地域の福祉力の向上を目指し、地域福祉活動を推進します。



(右) 辻下 岬町社協会長
(左) 勝山 大阪いずみ市民生活協同組合理事長



協 議 会 の 活 動

地区福祉委員会活動

地区福祉委員会の構成

自治区長(自治区)、民生委員・児童委員、福祉専門機関・団体、当事者組織・団体、関連分野団体、ボランティア・住民活動を行っている方 など

地区福祉委員会は、より身近な地域で福祉活動を行うことができるよう、岬町社会福祉協議会の福祉活動組織として、淡輪・深日・多奈川・孝子の各地区に組織しています。

高齢者、障がい者や子育てに不安を持つ保護者等さまざまな福祉課題を抱えた人たちをはじめ、だれもが安心して暮せるまちづくりをめざす推進役として活動しています。



淡輪地区
昔の暮らし体験学習



深日地区
防災研修会



多奈川地区
福祉&多奈川ハフエスタ



孝子地区
喫茶たちばな

小地域ネットワーク活動

小地域ネットワーク活動は、高齢者、障がい（児）者、子育て中の親子等支援を必要とするすべての人が安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い・助け合い活動です。

見守り訪問活動による問題の早期発見やふれあい・いきいきサロン、コミュニティカフェによる健康づくり・介護予防、つながりづくり等、地域から孤立することなく生活できるよう地区福祉委員会を中心に活動を展開しています。



コミュニティカフェ



ふれあい・いきいきサロン



見守り訪問活動

福祉教育（共育）推進事業

岬町社会福祉協議会では、地域の住民が自分たちの生活や地域課題を発見し解決できる力をつけ、地域の福祉力を高めるため、大人も子どもも地域の中で共に生き、共に学びあい、共に育ちあう

「福祉共育＝共に育つ力を育む」を福祉のまちづくりの基本に置いて実施しています。



地域福祉共育実践
プレゼンテーション



車いす体験学習



障がい者交流学習



福祉協力校推進
指定事業活動
資料集の作成・報告

岬町 社会福祉

岬町ボランティア住民活動支援センター

岬町ボランティア住民活動支援センターは、いつでも、だれでも、気軽に参加できるボランティア活動や住民活動の紹介、各種ボランティア講座の開催、ボランティア・住民活動情報や福祉情報の発信などを行っています。また、町内で大規模災害が発生した際は、平成27年4月17日に岬町と締結した「災害時におけるボランティア活動に関する協定」に基づき、「災害ボランティアセンター」を立ち上げ、支援活動とセンター運営を行います。平常時からの取り組みとして、災害ボランティア養成講座を開催し、災害時に迅速な対応ができるよう活動を進めています。



介護用品配達ボランティア



心に寄り添い支え合う
有償活動実践講座



キッズボランティア



災害ボランティア養成講座

防災・減災への 取り組み



災害ボランティア活動

精神保健福祉推進事業

精神保健福祉推進事業は、こころの病がある方に対する誤解や偏見の軽減、地域であたりまえに暮らすための居場所づくりや就労体験、家族同士が交流できる場づくり等を、地区福祉委員会やボランティアグループとともに実施しています。



ほのぼのサロン



家族会あすなる

生活支援コーディネーター 設置業務事業

生活支援コーディネーターは、超高齢社会の中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、支え合い・助け合いのある地域づくりや地域で困りごとを抱えた方々へ適切に支援が届くような体制づくりを推進しています。



地域の話し合いの場
ワークショップ「赤提灯」



地域支援団体ネットワーク会議

協 議 会 の 活 動

福祉サービス事業

障がい者や高齢者などの方々の通院等の送迎を行う移送サービスやふれあい給食サービス、福祉機器貸出サービス等を行い、在宅生活の向上を支援しています。



ふれあい給食サービス



移送サービス



介護用品給付サービス



福祉機器貸出サービス

日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業は、高齢や障がい等により判断能力の不十分な方が、安心して自立した生活を送れるように金銭管理や福祉サービスの利用援助等の支援を行っています。



金銭管理サービス



権利擁護講座

共同募金運動・歳末たすけあい運動

赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉の問題解決に取り組む民間団体を支援する仕組みとして、また住民の皆さまのやさしさや思いやりを届ける運動として推進しています。集まった募金は、身近な地域の福祉活動や大規模な災害が起こった際の災害支援などへ配分されています。



共同募金協力型
自動販売機



緊急一時食糧支援事業



歳末たすけあい運動
福祉団体等助成金事業
(贈呈式)



歳末たすけあい「見守り・訪問活動等」
岬町民生委員児童委員協議会助成金事業

岬町 社会福祉

介護予防・自立支援事業

介護予防・自立支援事業は、家族介護者の心と身体が健康で充実した介護が行え、要介護者も地域とつながり、ほほえみこぼれる介護を目指して、介護者(家族)の会「ほほえみ」と協働で介護講座の開催や介護者・家族交流会等の活動を実施しています。また、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、認知症支援推進の一環として、認知症カフェ「おにぎりサロン“喫茶Sunデー”」の開催などに取り組んでいます。



介護講座



「ほほえみ」による見守り訪問



喫茶Sunデー

岬町社会福祉施設等連絡会・福祉施設協働事業

岬町社会福祉施設等連絡会・福祉施設協働事業は、町内の社会福祉法人や福祉施設が、事業種別を超え連携して地域の生活課題や福祉課題の解決を図るために活動を推進しています。具体的な取り組みとしては、生活支援型多機能バス「結」号を協働運行し、地域のサロンに「来ない方・来られない方」を対象に個別訪問等の支援を行っています。「結」号の利用者の想いから専門職やボランティアがサポートを行い、それぞれに役割をもち社会参加できる居場所「みさきのわ」や「ゆめカフェ」を設立し支援しています。



休日サロン「ゆめカフェ」



岬町社会福祉施設等連絡会会議

岬町社会福祉施設等連絡会の構成一覧	
社会福祉法人	ほたる ケアハウスほたる
社会福祉法人	全電通近畿社会福祉事業団 知的障害者総合福祉施設 愛の家
社会福祉法人	順風会 ほほろ淡輪デイサービスセンター
社会福祉法人	岬町社会福祉協議会

その他の地域福祉事業

- ・ 岬町地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進
- ・ 福祉総合支援相談事業
- ・ 福祉資金貸付事業
- ・ 地域企業による社会貢献活動の推進
- ・ ひとり親家庭義務教育入学祝金支給事業
- ・ カラオケ大会
- ・ ゲートボール大会 など



岬町地域福祉計画・地域福祉活動計画
推進検討委員会



第3次岬町地域福祉計画・
地域福祉活動計画冊子

動 情 報 社 委 員 会 活 動



深日地区 「防災学習会」を実施しました

本年3月から4月にかけて、大阪府防災グループ及びA D I 災害研究所の指導のもと、深日地区第二層協議体「友さんの会」と深日地区福祉委員会の共催による防災学習会を実施しました。3回に分けて実施し、1回目は「地域の想定される災害リスクについて」と「水害時の犠牲者を出さないためのコミュニティタイムライン」について学習し、2回目は避難を想定し、地域の状況を知るために「まち歩き」を実施しました。また3回目は災害発生に備えて、「コミュニティ（地域）」が事前にとるべき防災行動について、「いつ」「誰が」「何をするか」を時系列に整理することを学びました。3回で延べ150名余りの参加を頂きました。この防災学習会において、各自、及び地域で災害に備える必要性を学びました。



川端 修

多奈川地区

「合同いきいきサロン」開催

3月21日(火)多奈川小学校体育館にて、3年ぶりに「合同いきいきサロン」を開催することができ、各自治区のボランティアの送迎で、130余名の方が参加されました。

多奈川地区は、広い範囲に民家が点在しており、他の自治区に住んでいる人との行き来が、コロナ等で少なくなっています。そのことから「合同いきいきサロン」を開催すれば、地域の方に喜んでもらえるのではないかと思います。多奈川地区福祉委員会で計画をしました。そして地域のご高齢の方へ、「家にもってないで、まず外に出しましょう！楽しい時間を過ごしましょう！」と呼びかけました。

最初に岬町の地域の課題に対する取り組みを、落語風に話して下さった竹本さん。大学院生で、趣味の古典落語をされている眞所^{まこと}さん。鍼灸師で三線の弾き語りを聞かせて下さった淵原さん。三人の方がボランティアで場を盛り上げてくれました。本当にありがとうございます。これからも地区福祉委員、民生・児童委員、ボランティアさんと協力しあって盛り上げていきます。



磯打 千代枝

地域の福祉活動

地区福



孝子地区

見守り訪問活動を振り返って・・・

下孝子では「いきいきサロン」「喫茶たちばな」に取組んでいます。今回はコロナ禍で取組んだ「見守り訪問活動」のことを記します。私は地域の福祉活動の中で、一番効果的というか、すばらしい取り組みは何といっても「見守り訪問活動」だと思います。皆さんの元気な姿を見ると安心します。嬉しいですね。いつまでも心と体が健康で長生きしてほしいと思います。見守り訪問活動は好評です。少しの手土産というか粗品（コロナ対策用品や介護予防等の啓発資料等）を添えて訪問します。訪問しますと、いつも必ず「わざわざ訪ねてもらってありがとうございます。ご苦労様。」と言ってくれます。その言葉だけでも充分です。見守り訪問してよかったなあと感じる瞬間です。我々スタッフは、次の訪問にどんな粗品もっていくのかとこれも考えています。大好評だったのは「電子レンジで加熱する食品」でした。最初は「好き嫌いがあるのかな？」と3人のスタッフ間で話をしていたのですが、手渡した瞬間は皆さん明るい顔になって「ありがとうございます」などと言っていたとても嬉しかったです。これはスタッフの一人の発案で「コロナで外出自粛されているから、買い物などで困っているのではないか？」と考え、わざわざJR和歌山駅近くまで買いに走ってくれたのです。また、実用的なものというか日常生活必需品も喜ばれます。「45リットルのゴミ袋」も好評でした。もちろんコロナ禍の3年間は「マスク」も粗品にしました。これも好評でした。粗品は何にしようかあれこれ考えながら、見守り訪問に備えました。



今後の地域活動は体を動かすような屋外での散歩や農業・園芸的なものを取り入れたらとも思います。しかし高齢者の方が多く参加していただけたらどうか懸念されます。地域活動もマンネリ化しないようにいろいろ試行錯誤しながら取り組んでいくべきだとも思います。

平山 隆信

淡輪地区

車いす体験交流学習

2月9日(木)、晴天のもと、淡輪小4年生の車いす体験交流学習に、岬高校の応援4名とともに参加しました。(児童55名、スタッフ総勢30名、車いす9台)まず、先生からミッション発表です。

公衆電話ボックスに、車いすで入れるか？ 難波までの切符はいくらか？ 自分で見て、買えるか？ 駐車場の看板は？ 自動販売機のしるこはいくら？ (自分で買えるか？) 郵便ポストに、自分で葉書を投函する、などです。いずれもなかなか難題です。

児童たちは、2コースを、3人一組で、車いすに乗ったり、押したり、周囲の安全確認や補助など、道路の段差や、対向車や横断歩道での、予想以上のアクシデントに、初めての車いす体験にもかかわらず、果敢に挑戦し、工夫して、気が付いたことを話してくれました。

小学校の周辺のごく一部の通学路でしたが、車いすの大変さを改めて実感した次第です。普段、気が付かないことを発見する良い機会でした。

児童たちについて歩いて、良い汗をかき、楽しい一日でした。

川村 富美代



5月11日に令和5年度「ほほえみ」総会を開催しました

今年は3年振りに会員の皆様と対面での総会となりました。まだ、コロナ感染症が終息した訳ではありませんが、緊張しつつ有意義な総会となりました。

第2部では「防犯教室(特殊詐欺被害防止について)」を、大阪府警察本部生活安全指導班の警察官による寸劇を交えて、実際の日常生活の中で起こりうる、詐欺被害について話をして頂きました。段々と詐欺の手口が巧妙になってきています。被害者の約9割が高齢者。被害にあった人のほとんどが「自分は大丈夫!」と思っていたそうです。自宅への1本の電話によって被害にあっている様です。詐欺の被害にあわない様に、自宅の電話を留守番電話にしたり、相手との会話を録音する機能のついた電話機にする。あるいは自分1人で判断せずに、まわりの人や知人に相談するなど、対策していかねばと改めて思いました。

*ちなみに今年に入って泉南警察管内では被害は0件という事でした。

今年は「ほほえみ」本来の活動ができる事を楽しみにしています。

橋爪 克枝



会員募集中!!

介護のこと、1人で悩んでいませんか?1人で抱えこまないで…。
わかりあえる仲間があなたを待っています。
いっしょに“ほほえみ”をもって介護しませんか?

岬町社協地域包括支援センター通信

みなさま、こんにちは!! 岬町社協地域包括支援センターです。

「聞こえにくさ」をそのままにしていませんか?

難聴のためにコミュニケーションが取りづらくなることで社会的なつながりが薄れ、「フレイル(体や心の働きが弱くなった状態)」を生じている可能性があることがわかってきています。フレイルを放っておくと要介護状態になる可能性があります。難聴は徐々に進行するので、本人が気づかない場合もあります。聞こえにくさをそのままにしているとフレイルだけではなく認知症やうつ病の発生リスクも高くなります。大事なことは早めに気づき適切な取り組みをすることです。フレイルの進行を防いで、元気な状態を取り戻しましょう。

岬町が補聴器を購入するための費用の一部を助成する「高齢者補聴器購入費助成事業」を開始しています。詳しい事業の内容(対象者や申請方法など)を必ずご確認ください。

〈岬町高齢者補聴器購入費助成事業についての問合せ先〉

岬町しあわせ創造部 高齢福祉課 高齢介護係 電話 072-492-2716





知って得する情報コーナー!!



コミュニティカフェ

喫茶たまり場

開催日 7月4日(火) } 午前10時～午後3時
 8月1日(火) } (毎月第1火曜日開催)
 9月5日(火)

場所 みんなのたまり場
主催 淡輪地区福祉委員会

喫茶ぼちぼち

開催日 7月11日(火) } 午前10時～午後3時
 8月8日(火) } (毎月第2火曜日開催)
 9月12日(火)

場所 淡輪老人福祉センター
主催 淡輪地区福祉委員会

ふれあい喫茶

開催日 7月19日(水) } 午前10時～正午
 9月20日(水) } (毎月第3水曜日開催)
 (8月と12月はお休み)

場所 深日会館
主催 深日地区福祉委員会

おーぷんかふゑ ほほえみ

開催日 7月20日(木) } 午後1時30分～午後3時30分
 9月21日(木) } (毎月第3木曜日開催)

場所 岬町社会福祉協議会
主催 岬町介護者(家族)の会ほほえみ

サロン活動

ほのぼのサロン

開催日 8月23日(水) (偶数月第4水曜日開催)
 ※開催時間未定のためお問い合わせ
 ください

参加対象 ころころにづらさや不安をお持ちの方など
場所 みんなのたまり場
主催 精神保健福祉ボランティアグループ
 「ほのぼのみさき」

あすなるサロン

開催日 7月21日(金) } 午後1時～午後3時
 8月18日(金) } (毎月第3金曜日開催)
 9月15日(金)

参加対象 ひきこもりやころころにづらさ・不安
 のある方の家族など
場所 みんなのたまり場
主催 精神保健福祉家族会「あすなる」

◎開催日時・場所の変更、開催の中止等の場合がありますので、まずは下記の「お申込・お問合せ」にご連絡ください!

ボランティア体験プログラムのご案内

○ボランティア体験プログラムって…?

大阪府社会福祉協議会、岬町社会福祉協議会・岬町ボランティア住民活動支援センターの共催で、岬町内のボランティアグループ・団体等の協働による、子どもから大人まで、誰もがボランティアを身近に体験してもらうためのプログラムです。この機会にボランティア活動を通してたくさんの人と出会い、新しい経験を積み、自分の世界を広げてみませんか?

○プログラム内容

詳細は、岬町社会福祉協議会のホームページをご覧ください。
 右記QRコードからホームページをご覧くださいことも可能です。



○体験期間

令和5年7月1日(土)～令和6年3月31日(日)
 ※令和5年12月1日から令和6年3月31日までは、岬町独自の実施期間(予定)です。

○参加対象

ボランティアに関心・興味のある方
 ※プログラムによって、参加対象が異なります。 ※高校生以下の方は、保護者の同意が必要です。

○申込方法

※参加希望日の10日前までに下記の「お申込・お問合せ」へお申込ください。
 【感染等の拡大防止や自然災害等への対応状況等により、プログラムを中止・延期する場合があります。】

お申込・お問合せ

岬町社会福祉協議会・岬町ボランティア住民活動支援センター
 TEL 072-492-0633 / 072-492-5700 FAX 072-492-5701
 E-Mail info@misakisyakyo.jp

元気に暮らせる知恵

中筋恵介さん (89歳)



私は、12歳の時に堺から岬町深日に引っ越してきました。今年で89歳になります。こんなに、長生きが出来るとは思いませんでした。これも、皆様や家族のおかげです。毎日元気です。

パソコンは「出張福祉何でも相談」等で学び、名簿・プログラム作りをしました。グランドゴルフでは、みんなと楽しく運動し、コロナに負けず元気で過ごしています。

岬町介護者(家族)の会「ほほえみ」や長生会寿会では賑やかに楽しく、家庭菜園では野菜等も作り、家族も喜んで食べてくれます。

これから、どれだけ生きられるかわかりませんが、みんなと共に病気等しない様に暮らしていきたいと願っています。

灯台



孝子の断水

令和5年の3月を過ぎたころ、町からの知らせで逢帰ダムの濁水に伴う配管の切替作業が、4月にあることを知り、2年近く前の紀ノ川断水がふと頭をよぎりました。孝子地区はスーパリーなどのお店が一軒もないので、食料や水の確保を万全にして断水に備えておかないと、と思いました。

断水予定は3〜4日でしたので、紙皿や紙コップ、割り箸や飲料水を用意し、食事は、パックごはんや作り置きのおかずで過ごし、お風呂も入れないので銭湯にでも行って「しばらく主婦も休業です」と言いながら楽しく乗り切ろうとしていました。しかし、断水前日になり止水バルブの位置を確認し捻ってみると、硬くて回りませんでした。すぐに岬水道センターに連絡をすると、バルブの交換に来て下さいました。

断水1日目は、雨が降るなか、朝8時から給水車の応急給水活動が始まりました。事前通知があったので、水の確保に混雑することもなく、水をもらいに行くことと親切に対応して頂き、ホッとしました。

断水2日目を迎え「家事はしなくていいし、こんな日もあっていいな」と思いながら近所を散歩していると、切替作業が終了し断水も解除

○20,000円
浄土真宗本願寺派

日根組仏教婦人会連盟 様

○100,000円

淡輪地区 匿名希望 様

(内、50,000円を
淡輪地区福祉委員会へ)

編集後記



久しぶりの制限のない、いきいきサロンは「お元気でしたかー」と笑顔の挨拶で始まり、みんなでの食事を楽しまれるようすにコロナ以前の活動が出来るのを実感しました。紙面も新しい活動報告が出来ますように投稿よろしくお願ひします。

小藪 博子

赤ちゃん 紹介コーナー



すくすく
成長中〜☆

R3. 11. 21生まれ
望海坂 久岡 信之介ちゃん



いっぱい
思い出
作ろうね☆

R5. 1. 7生まれ
望海坂 久岡 華ちゃん



ねえねが
大好き♡
元気にすくすく
大きくなあれ!

R4. 4. 16生まれ
多奈川 照屋 健心ちゃん



幸せいっぱい
の人生を!

R4. 6. 9生まれ
深日 足立 瑠夏ちゃん

岬町にお住まいの赤ちゃん写真を大募集しています!